



休日の中学校の部活動が

地域で行う活動にかかわります



令和6年9月20日版

米沢市では、「令和8年度から中学生の休日の活動の場を部活動から地域のスポーツ・文化活動に移行する」ことを目指しています。

現在、少子化の影響により、各学校単位での部活動の成立が難しくなっている現状を踏まえ、子どもたちが充実したスポーツや文化活動を行える受け皿の整備に向け、各連盟・協会に協力いただき、地域全体で子どもたちの活動を支える体制の構築に取り組んでいます。

令和6年度の取り組みについて

(1) 実証事業

①ねらい

- ・実証事業をもとに、子どもたちにとってよりよい活動内容を検証します。
- ・費用、活動場所、移動方法などの課題解決に向け検証を行います。

②実証事業を行う種目

種 目	運 営 主 体	役職 ・ 代表者名
軟 式 野 球	米沢市野球連盟	会 長・鈴木 辰之
ソフトボール	米沢市ソフトボール協会	会 長・高橋 善彦
剣 道	米沢市剣道連盟	会 長・三條 貞夫
体 操	米沢市体操協会	会 長・須藤 正彦
バドミントン	米沢バドミントン協会	会 長・登坂 雅彦
陸 上	Yonezawa Athletics Club	クラブ長・荒川 光浩
吹 奏 楽	置賜地区吹奏楽連盟	会 長・加藤 公一

現在もソフトボール、陸上、野球の一部では活動が開始されており、今後もどのような形であれば活動が持続可能かを検討しています。

(2) 実証事業以外の種目の推進

実証事業を行っていない種目（上記以外の種目）においても、どのような形であれば中学生が活動できるか、各連盟・協会が中心となって検討を進めています。

多くの種目で活動ができるよう、体制整備を進めていきたいと考えております。

問合せ

米沢市教育委員会 学校教育課

22-5111(内線7402)

